

2010年3月期 決算報告



第一実業株式会社

代表取締役社長 矢野 邦宏

2010年5月25日

世界不況の影響を受け、2010年3月期決算は減収減益

不況期でも安定した財務体質

新中期経営計画 ACT2012

グループ概要

- ・ DJKグループは、世界4軸体制を基軸として米州・欧州・中国・東南アジアに軸を置いた海外戦略を展開
- ・ **第一実業(広州)貿易有限公司** と **PT. DJK INDONESIA** を新たに連結の範囲に含める



2010年3月期実績

前中期経営計画実績

新中期経営計画

株主還元

業績概要(連結)

- ・ 企業の設備投資の抑制に加え、深刻な雇用情勢や個人消費の低迷などの影響を受け
売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも低調に推移

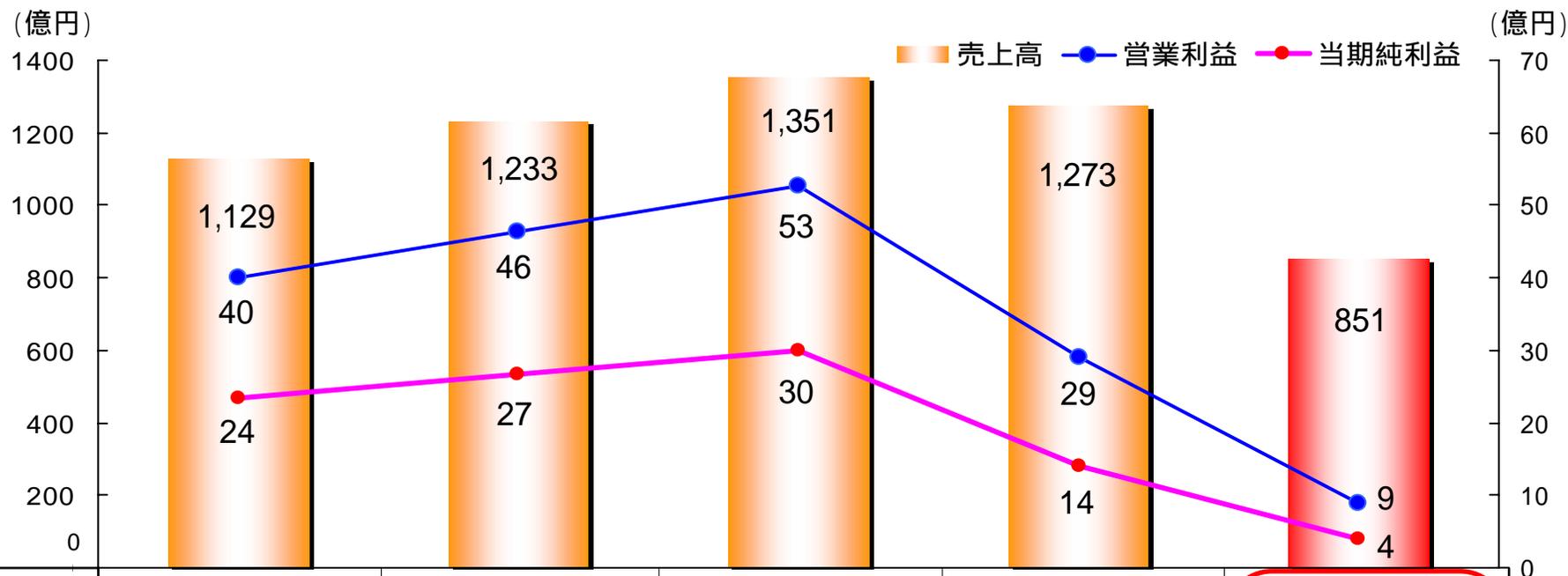
単位:百万円

摘要	10年3月期	09年3月期	増減
売上高	85,058	127,285	42,227
営業利益	941	2,893	1,951
経常利益	1,241	3,092	1,850
当期純利益	363	1,384	1,021

2010年3月期 決算実績(連結)

・ 売上高851億円(前期比33.2%減)、営業利益9.4億円(前期比67.4%減)、経常利益12.4億円(前期比59.8%減)

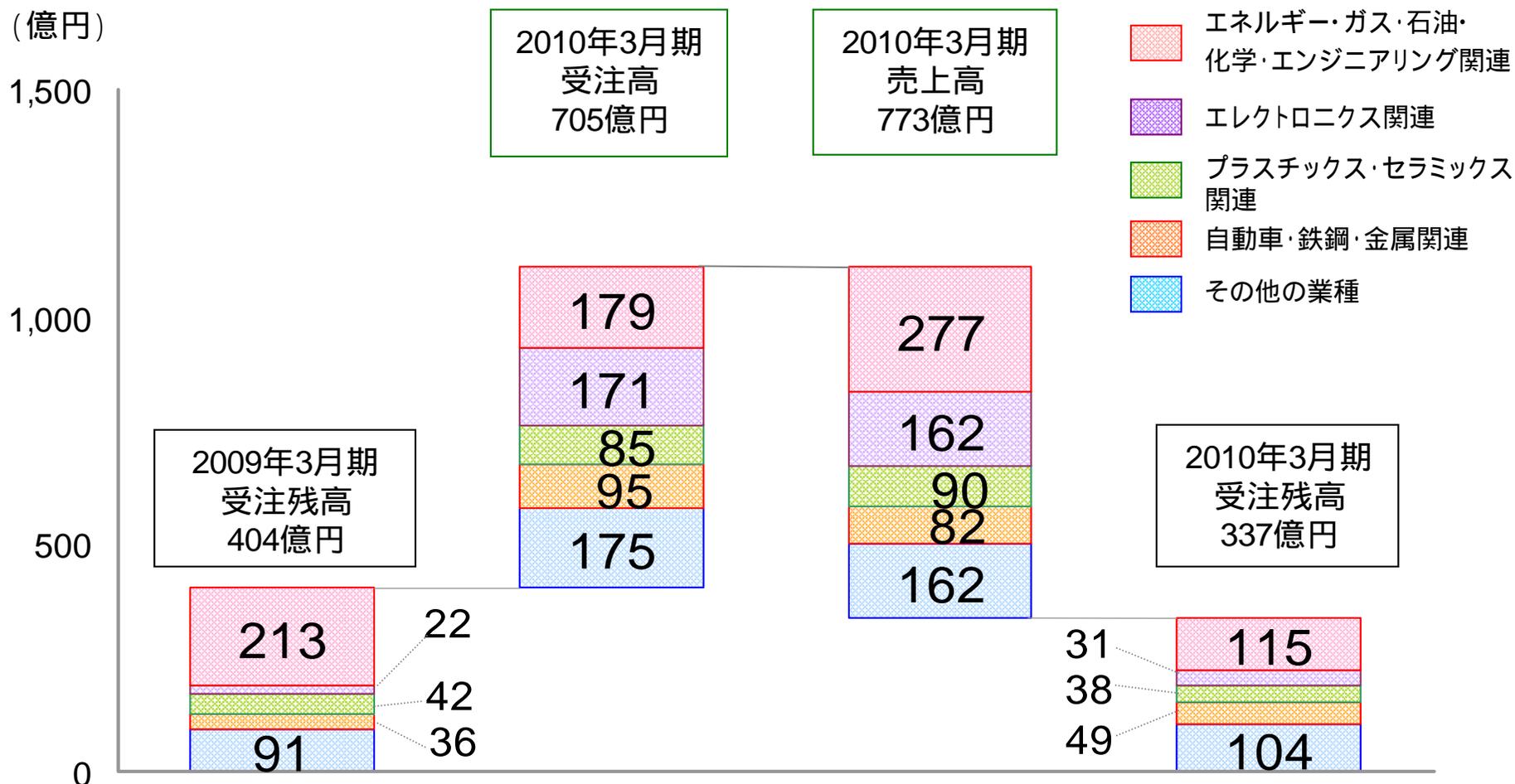
当期純利益3.6億円(前期比73.8%減)



	06/3		07/3		08/3		09/3		10/3	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	1,129		1,233		1,351		1,273		851	
売上総利益	148	13.1%	171	13.8%	173	12.8%	143	11.2%	111	13.1%
営業利益	40	3.5%	46	3.8%	53	3.9%	29	2.3%	9	1.1%
経常利益	41	3.7%	48	3.9%	54	4.0%	31	2.4%	12	1.5%
当期純利益	24	2.1%	27	2.2%	30	2.2%	14	1.1%	4	0.4%

2010年3月期 受注高および受注残高実績(単体)

- ・ 2010年3月期の受注高は、705億円
 - ・ 2010年3月期の受注残高は、337億円
- (「その他の業種」の受注残高には、紙・パルプ関連、医薬品・食品関連、航空関連などが含まれる)



セグメント概要(単体)

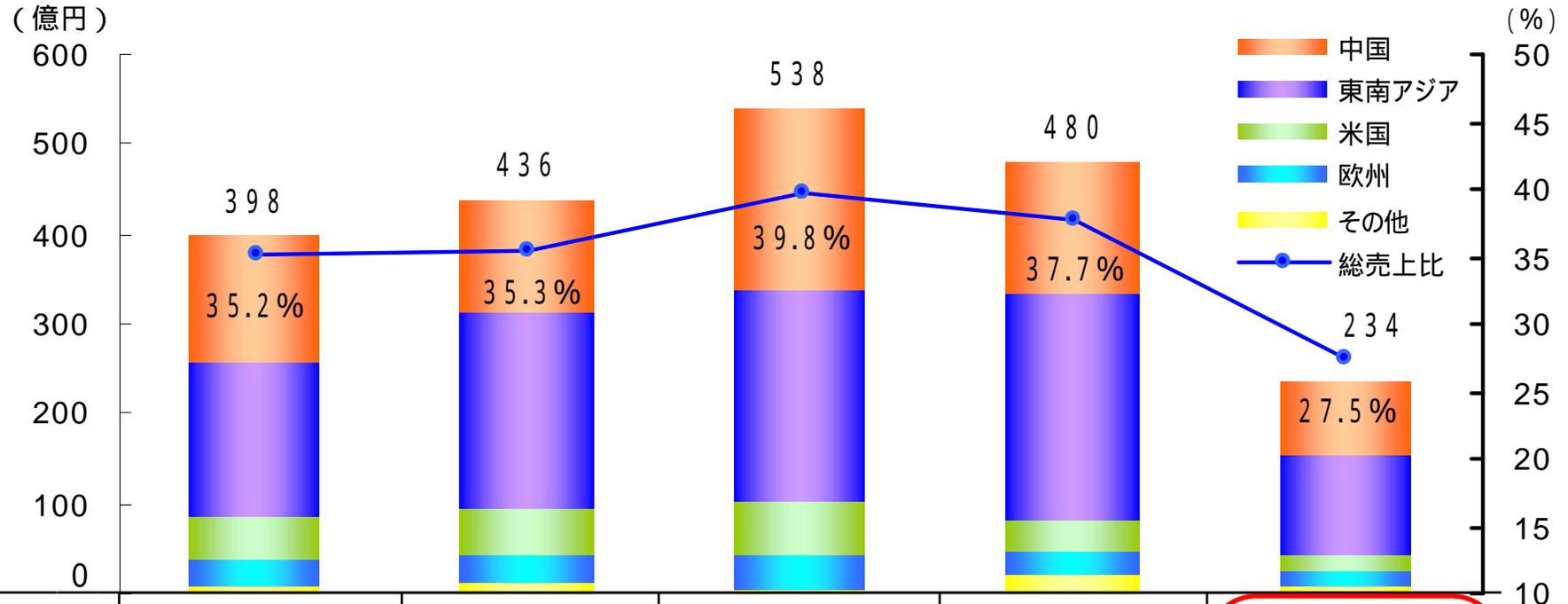
- ・世界同時不況の影響が特に大きく、広範な納入先業種で受注高・売上高ともに低調に推移

単位:億円

業 種	受注高	売上高
エネルギー開発生産・ガス石油精製・化学関連	82	202
エンジニアリング・建設関連	97	75
エレクトロニクス関連	171	162
プラスチック・セラミックス関連	85	90
自動車・鉄鋼・金属関連	95	82
その他の業種	175	162
合 計	705	773

海外売上高(連結)

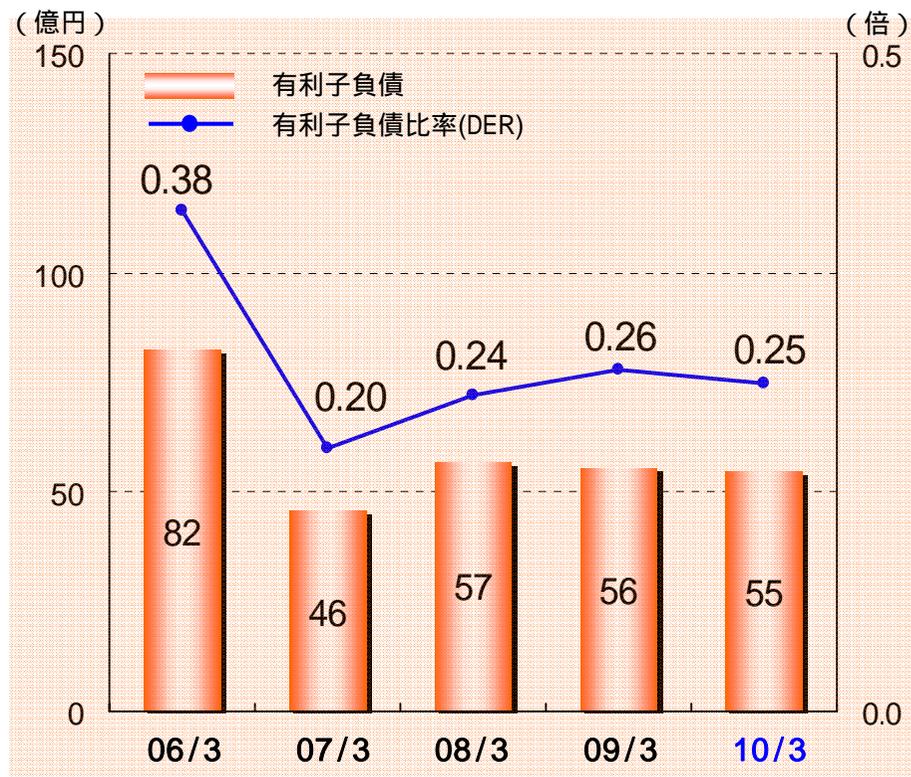
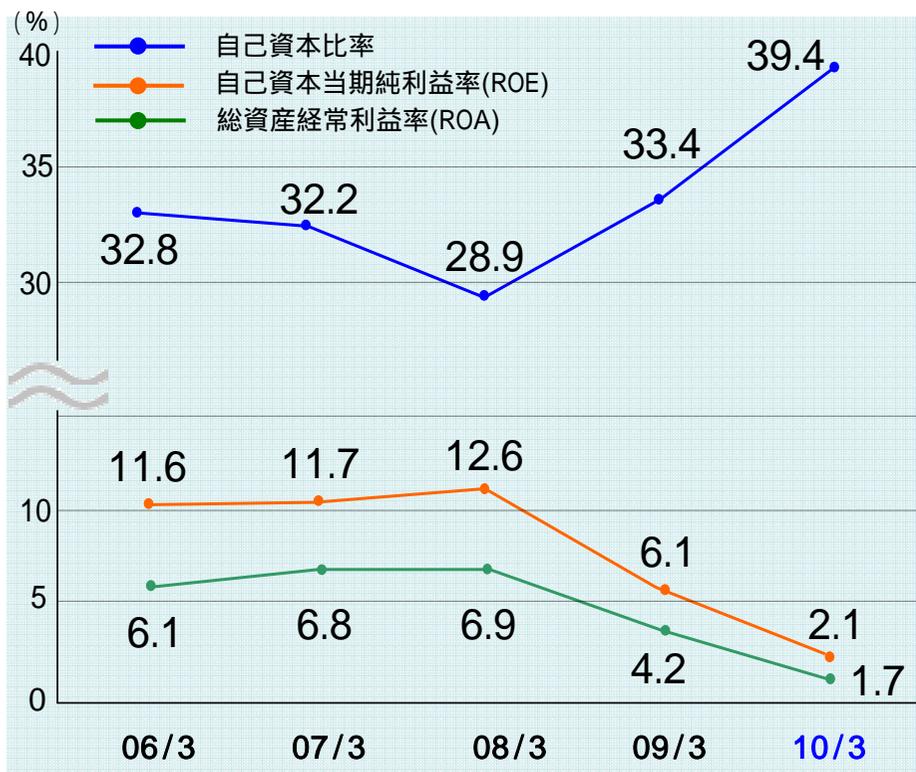
・ 海外売上高はすべての地域において大幅な減少となった



	06/3		07/3		08/3		09/3		10/3	
	金額	構成比								
中国	141	35.4%	122	28.0%	201	37.3%	147	30.5%	74	31.8%
東南アジア	173	43.5%	218	50.1%	232	43.0%	250	52.1%	118	50.7%
米国	46	11.5%	51	11.8%	63	11.8%	36	7.6%	14	6.1%
欧州	30	7.6%	32	7.2%	37	6.9%	26	5.4%	17	7.1%
その他	8	2.0%	13	2.9%	5	1.0%	21	4.4%	11	4.3%
合計	398	100.0%	436	100.0%	538	100.0%	480	100.0%	234	100.0%
総売上高比率	35.2%		35.3%		39.8%		37.7%		27.5%	

自己資本比率・ROE・ROA・有利子負債・DER (連結)

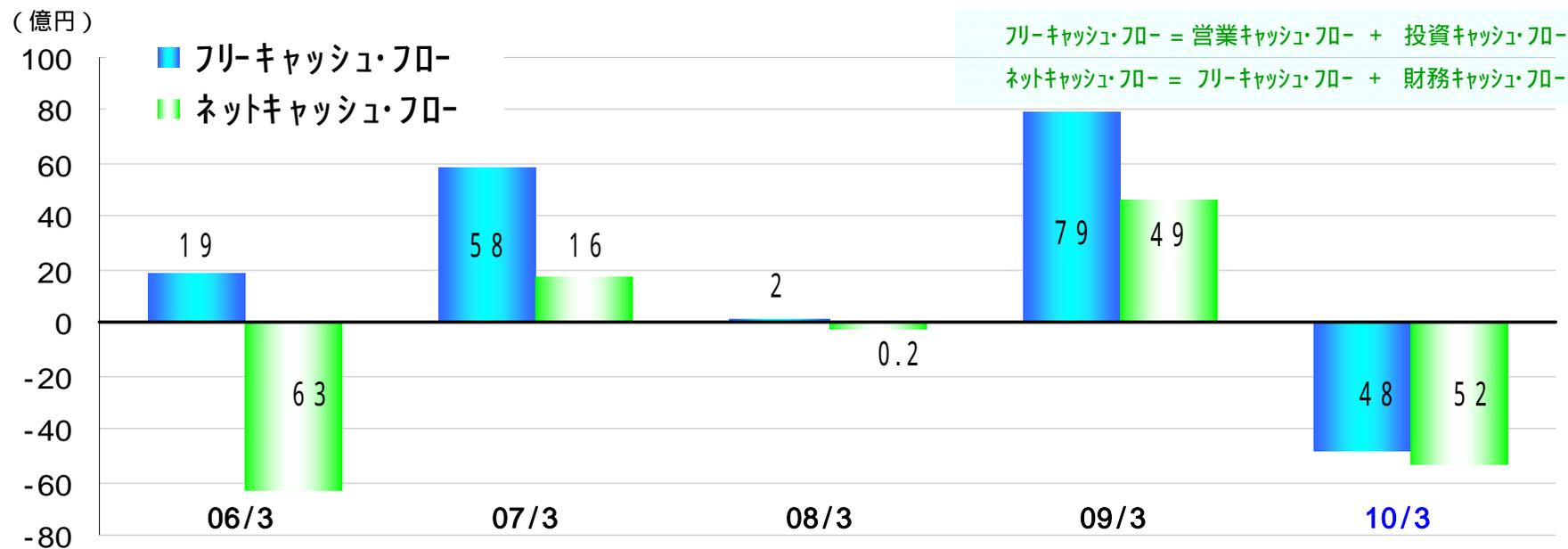
・世界的な経済不況の中でも財務の健全性を確保



	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3
自己資本比率	32.8%	32.2%	28.9%	33.4%	39.4%
自己資本当期純利益率(ROE)	11.6%	11.7%	12.6%	6.1%	1.7%
総資産経常利益率(ROA)	6.1%	6.8%	6.9%	4.2%	2.1%
有利子負債	82億円	46億円	57億円	56億円	55億円
有利子負債比率(DER)	0.38倍	0.20倍	0.24倍	0.26倍	0.25倍

キャッシュフロー計算書(連結)

- ・ 営業キャッシュフローの減少は主に仕入債務や前受金が減少したことによる
- ・ 投資キャッシュフローの増加は有価証券の売却による
- ・ 財務キャッシュフローの減少は配当金の支払いや長期借入金の返済を行ったことによる

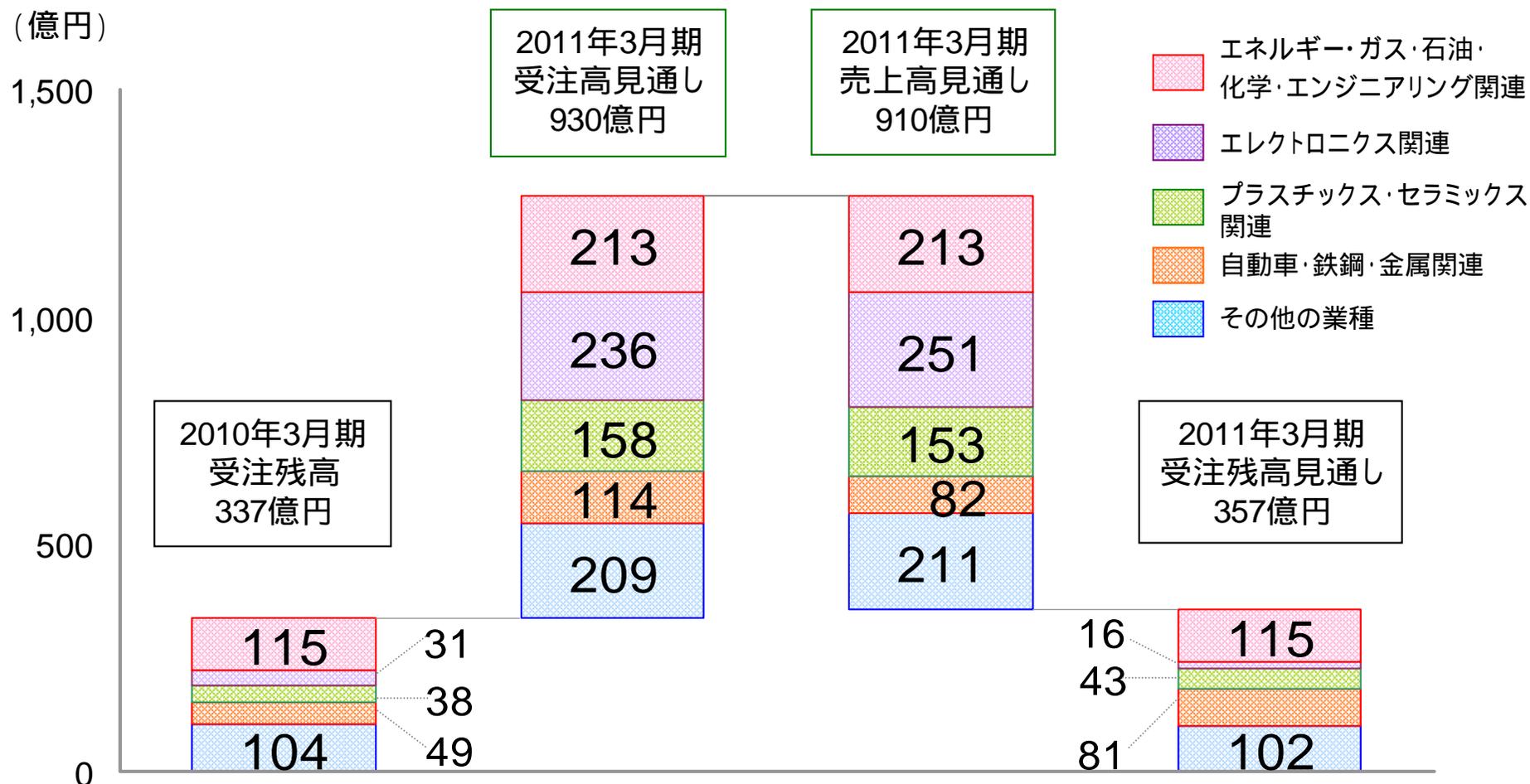


単位: 億円

	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3
営業キャッシュ・フロー	30	65	26	85	68
投資キャッシュ・フロー	11	7	25	6	20
フリーキャッシュ・フロー	19	58	2	79	48
財務キャッシュ・フロー	82	42	2	30	4
現金及び現金同等物期末残高	55	78	76	123	71

2011年3月期 受注高および受注残高見通し(単体)

- ・ 2011年3月期の受注高見通しは、930億円
 - ・ 2011年3月期の受注残高見通しは、357億円
- (「その他の業種」の受注残高には、紙・パルプ関連、医薬品・食品関連、航空関連などが含まれる)



2010年3月期実績

前中期経営計画実績

新中期経営計画

株主還元

前中期経営計画 GET2009 (2007 ~ 2009) 総括

GET2009 Global Expansion for the Top

グローバル市場における事業の拡大を図り業界の“雄”を目指す

定量目標 (連結ベース)

(連結)	数値目標	実績		
	数値目標	08年3月期	09年3月期	10年3月期
売上高	1,700億円	1,351億円	1,273億円	851億円
営業利益	46億円	53億円	29億円	9億円
当期純利益	27億円	30億円	14億円	4億円

定性目標

事業収益力の強化

- ・海外事業展開
- ・成長分野への積極的事业展開
- ・経営資源の適正配分

連結企業価値の増大

- ・グローバル経営資源の有効活用と財務体質強化
- ・グローバルネットワークの構築と効率運用
- ・グローバル人材の強化と育成

経営体制の整備・強化

- ・経営管理体制の構築による経営の見える化およびグループ体感の醸成
- ・CSRを意識した経営

課題

リーマンショックの影響で減少した企業収益の回復

2010年3月期実績
前中期経営計画実績
新中期経営計画
株主還元

ACT 2012

Active Challenges for the
Global Business Creator
with Trust



信頼される
グローバル・ビジネス・クリエイターへの
積極的挑戦！！

 **DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.**

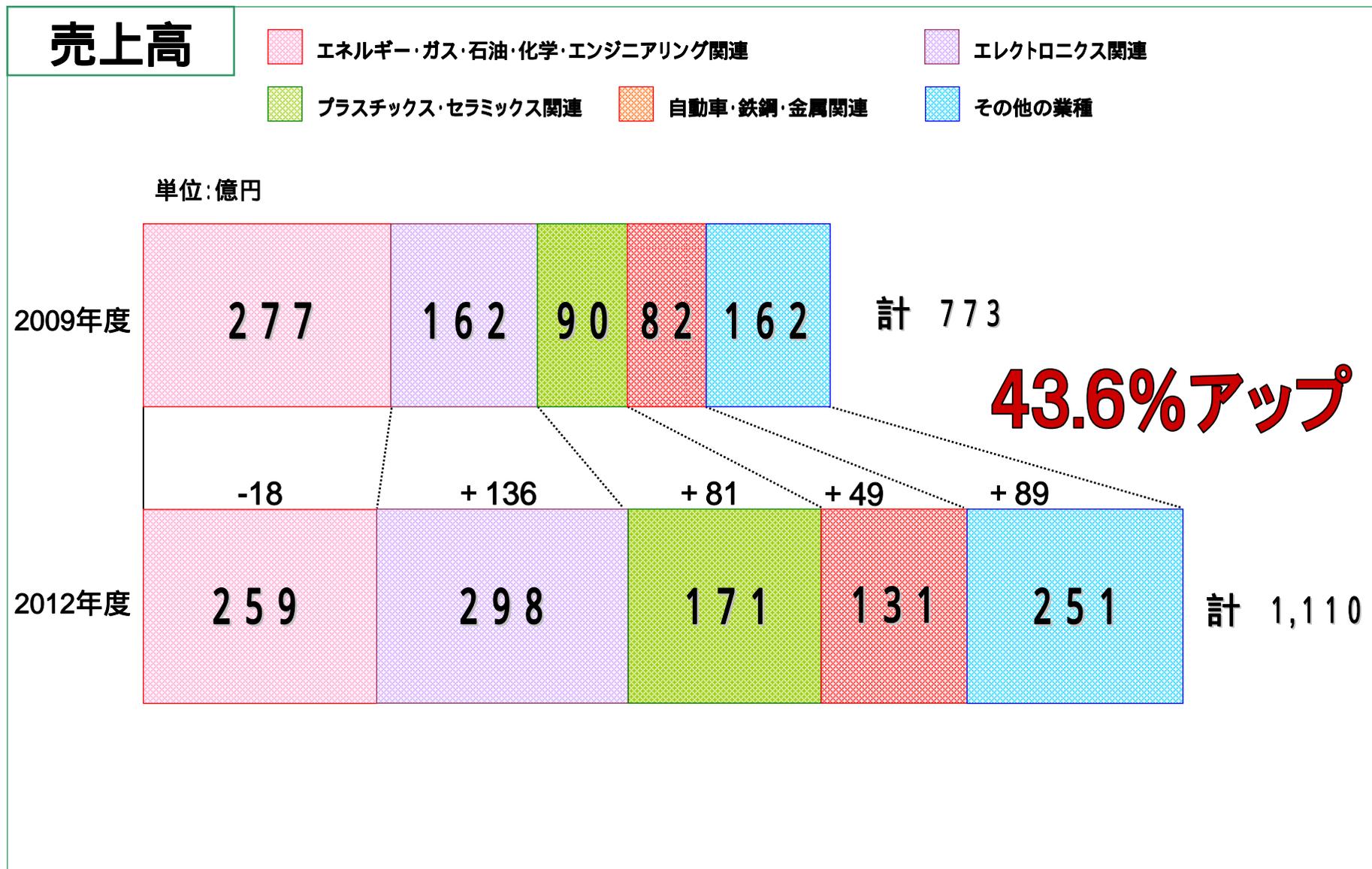
定量目標(連結)

売上高1,270億円、営業利益51億円を目標

単位:百万円

	2009年度	2012年度	増 減
売上高	85,058	127,000	41,942
売上総利益	11,104	17,200	6,096
営業利益	941	5,100	4,159
経常利益	1,241	5,100	3,859
当期純利益	363	2,900	2,537
自己資本	21,714	27,000	5,286
R O E	1.7%	11.2%	9.5
R O A	2.1%	7.4%	5.3
D E R	0.25倍	0.24倍	0.01

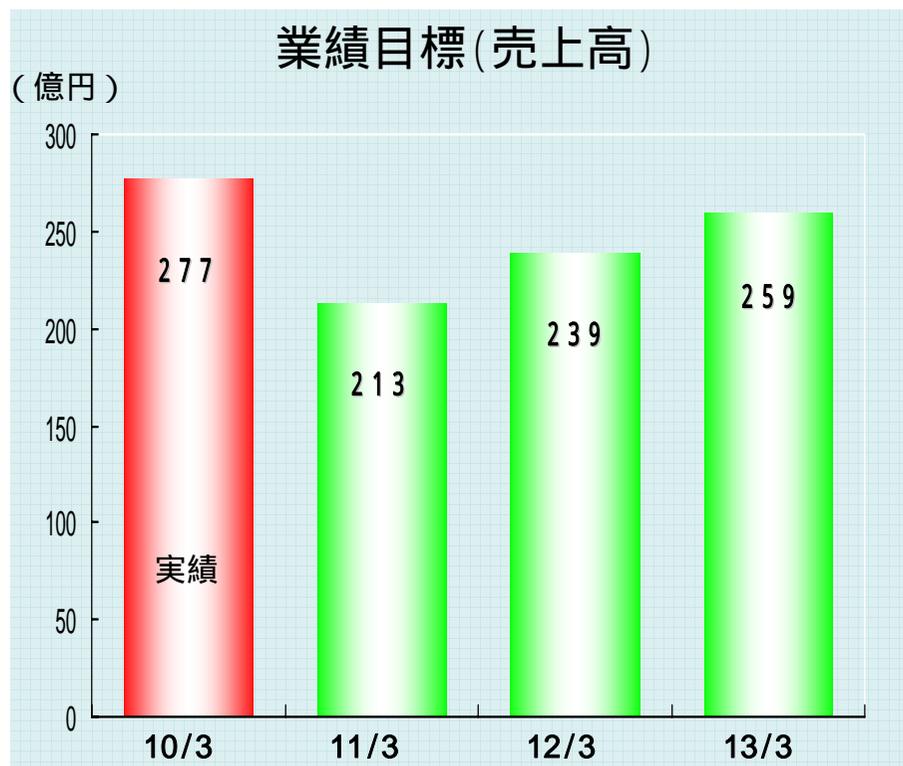
業種別目標(単体)



数値目標 主要業種売上高見通し(単体)

エネルギー・ガス・石油・化学・エンジニアリング関連

- ・ 製鉄関連事業を軌道に乗せ、製鉄業界における第一実業の存在を確立
- ・ 太陽光発電を含めた新環境ビジネスの立ち上げ



2010年3月期 277億円



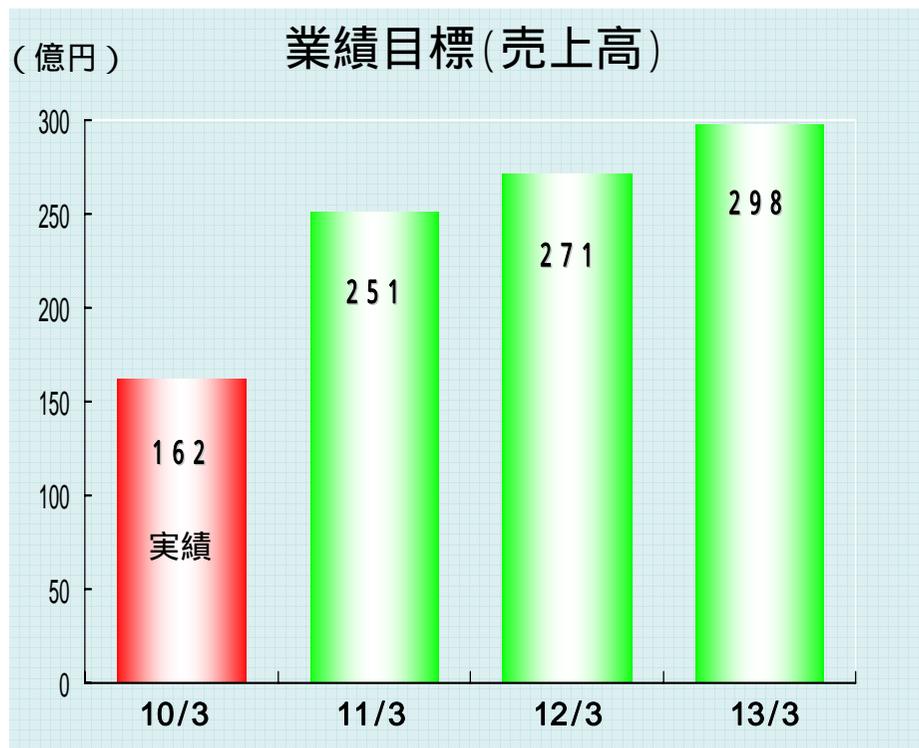
2013年3月期 259億円

 第一実業株式会社

数値目標 主要業種売上高見通し(単体)

エレクトロニクス関連

- ・ 実装機単体の営業を脱却し、前後工程自動化ラインの提案を推進
- ・ 製造ライセンスの取得、製造・販売ビジネスの展開



2010年3月期 162億円



2013年3月期 298億円



第一実業株式会社

プラスチック・セラミックス関連

- ・ 原料供給～製造～検査～出荷までのシステム一括受注を目指す
- ・ 高機能プラスチックから低コストプラスチックの提案
- ・ 高強度軽量材料ハニカムコア材料の販売



2010年3月期 90億円

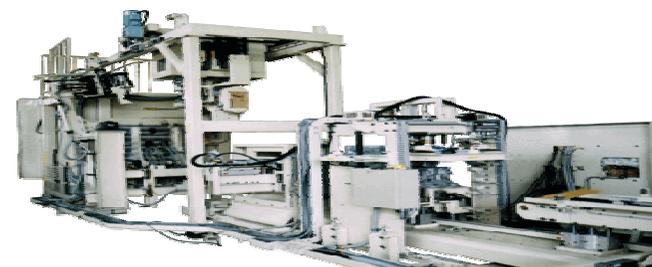


2013年3月期 171億円

数値目標 主要業種売上高見通し(単体)

自動車・鉄鋼・金属関連

- ・ 自動車業界の技術改革の要であるバッテリー事業への取組み
- ・ 自動車のハイブリッド化に向けた新規設備を開発・構築



2010年3月期 82億円



2013年3月期 131億円

 第一実業株式会社

数値目標 主要業種売上高見通し(単体)

その他の業種

- ・ 医薬品業界 : 「高品質・低コスト体質」に対応可能な商品開発
- ・ 航空業界 : 空港向けスノーピーク除雪車・消防車の販売展開
- ・ 食品業界 : 中国・東南アジアなどを含め積極的に海外展開



2010年3月期 162億円



2013年3月期 251億円

基本方針と定性目標(基本方針の内容)

事業収益基盤の強化と拡大

グローバル展開の更なる推進 新規成長分野への取組み強化

コア・ビジネスの徹底強化

企業価値の増大

財務体質の更なる強化

組織改革および人財の育成

経営システムの整備・強化

連結経営の高度化・効率化の推進

グローバル展開の更なる推進



1. 世界4軸体制(中国、東南アジア、米州、欧州)の深耕・強化
2. 新興地域(中近東、アフリカ、中央アジア、ロシア等)への進出による5軸・6軸体制への展開
3. 石油・化学、紙パルプ、プラスチック、エレクトロニクス、医療等、各分野におけるビジネスのグローバル展開の加速
4. 現地企業との取引拡大

新規成長分野への取組み強化

1. 環境・新エネルギー・水資源関連事業への積極的投資
2. 二次電池関連事業(リチウムイオン電池等)の強化
3. 製鉄・鉄鋼業界への積極的取組み
4. 医療関連商材の積極的開拓
5. M & A・投資による収益基盤の強化

コア・ビジネスの徹底強化

1. 現場力を活かした主要取引先との関係強化・深耕
2. 取引先の研究開発部門への更なる積極的提案営業と投資
3. 輸出入商材および多国間取引の拡大

財務体質の更なる強化

1. 資金調達多様化の推進
2. 自己資本比率、ROE、ROAの向上
3. 有利子負債の有効活用
4. グローバル展開に伴う債権回収リスク管理の徹底・強化

組織改革および人財の育成

1. グループ内組織の再編成
2. グローバル人財の確保・育成と経営への参画推進
3. ダイナミックな人財の流動化
4. 創造力を育む教育体制の整備

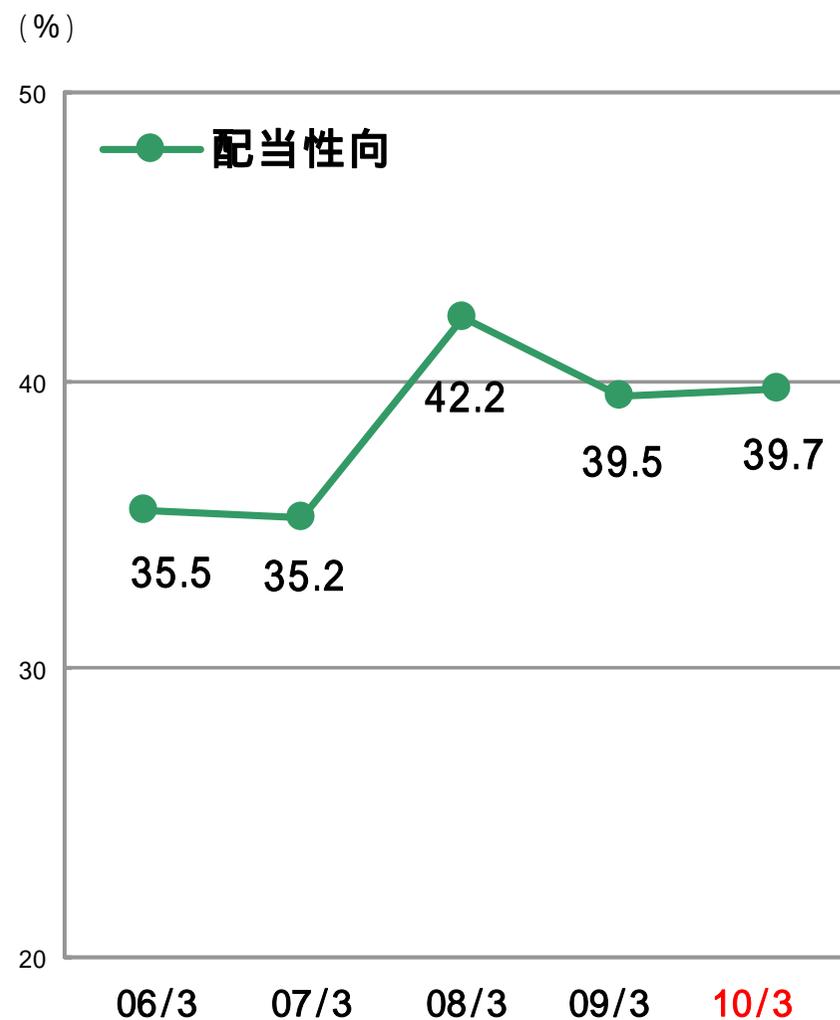
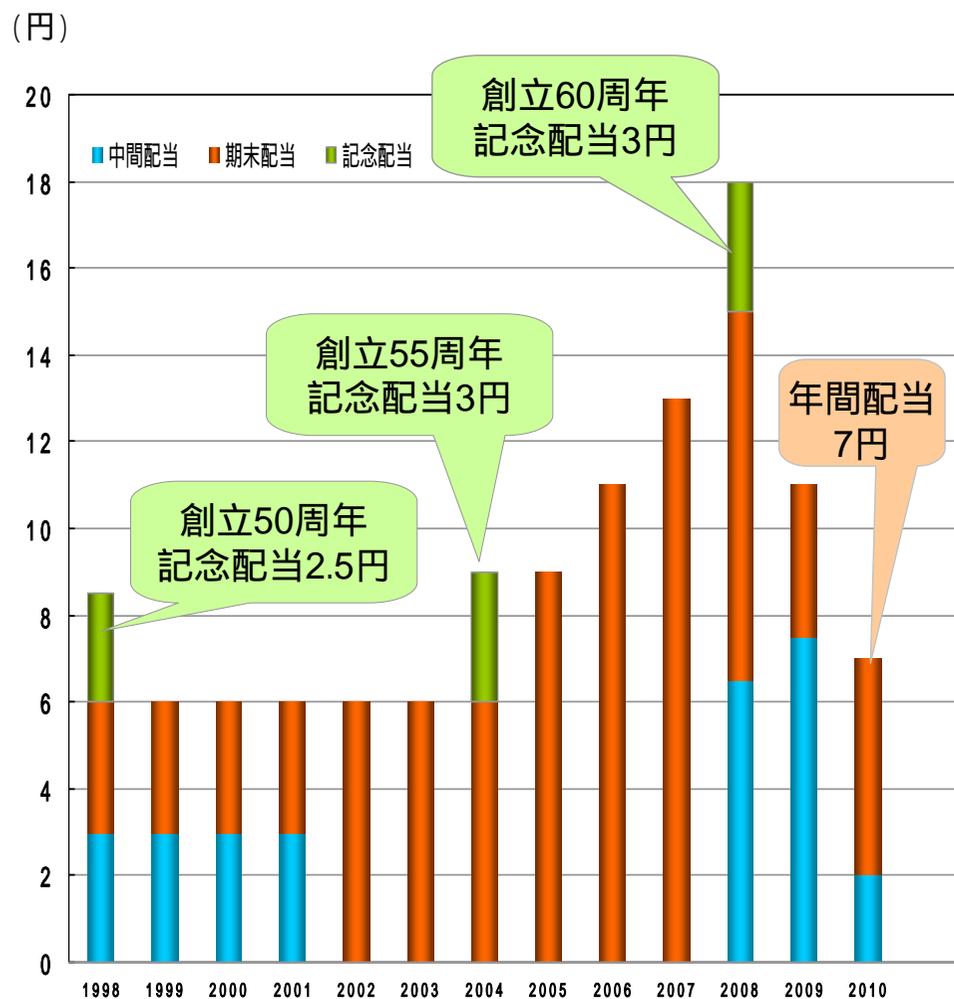
経営システムの整備・強化

1. ITインフラの整備・強化
2. コンプライアンス・内部統制の徹底
3. リスク・マネジメントの徹底・強化
4. ナレッジ・マネジメント・システムの整備
5. CSR・環境への取組み強化

2010年3月期実績
前中期経営計画実績
新中期経営計画
株主還元

配当金の推移・配当性向

- ・ 2008年3月期は当社創立60周年記念配当を実施し、年間配当は18円
- ・ 2010年3月期年間配当は、業績および配当性向等を考慮し7円
- ・ 配当性向は単体利益に対して30%～50%を目処



ご清聴ありがとうございました

お問合せ先

東京都千代田区二番町11番19号

IR・広報室 Tel:03-5214-8613 Fax:03-5214-8503

ホームページ <http://www.djk.co.jp/>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標、その他歴史的事実でないものは、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。